

朝来市総合計画審議会 第1回 会議録

○ **開催日時** 令和2年12月16日(水) 14時00分～16時30分

○ **開催場所** 朝来市役所本庁舎 3階 庁議室

○ **出席者の氏名**

	出席者	欠席者
委員	岡 和彦	なし
	桐山 徹郎	
	草郷 孝好	
	篠原 諒太	
	下口 光子	
	関 綾乃	
	津 志歩	
	中尾 敦子	
	西垣 佳生	
	濱 智絵	
	松本 正寛	
	宮谷 泰史	
	吉井 忠大	
事務局 (市長公室総合政策課)	政策担当部長 赤間 博貴	
	総合政策課長 松本 昭浩	
	副課長 和田 幸司	
	課長補佐 馬袋 真紀	
	主査 高本 恵三	

○ **傍聴者** なし

○ **会議**

1 **開会**

定刻になりましたので、第1回朝来市総合計画審議会を開催します。

2 委嘱書の交付

市長から草郷委員へ代表交付。

その他委員は、机上配布にて委嘱状の交付に代える。

3 多次市長あいさつ

皆さん、こんにちは。日頃は、朝来市政の推進に多大なる御理解と御協力を賜り、誠にありがとうございます。また、本日は、朝来市総合計画審議会の開催について御案内をいたしましたところ、御参加いただき、重ねて御礼申し上げます。

本年は、新型コロナウイルス感染症の影響により、感染予防のため、様々な行事・事業が中止・規模縮小となり、加えて、自粛要請等の影響により市民生活や市内経済にも大きな影響を受けた年となりました。

さて、第2次総合計画が令和3年度で最終年度を迎えることから、令和4年度を初年度とする第3次総合計画を策定するにあたり、諮問機関として、朝来市総合計画審議会を設置いたしました。皆様には、快く、委員をお受けいただき、感謝申し上げます。

朝来市は、平成17年に朝来郡の4町合併で誕生し、本年度で15周年を迎えました。第1次総合計画は、市民の一体感の醸成を図りながら、市民自治のまちづくりの確立に向けてスタートいたしました。そして、平成26年度を初年度とする第2次総合計画では、人口減少社会に対応すべく、人口政策を最重要課題として位置づけ、全国に先駆けて人口政策に取り組んできました。さらに、第2次の後期では、人口減少は避けて通れないとの観点から、人口目標を下方修正し、人口が少なくなっても朝来市民が幸せに暮らしていけるための地域力の維持と向上に力を入れ、市民の皆様との対話を大切にしながら、市民主体のまちづくりを進めてきたところです。

今年9月と10月に開催した「あさご未来会議」では、御参加いただいた皆様から、「人と人とのつながり」「地域での支え合い」「人材育成」の大切さについて多くの御意見をいただきました。15年間の朝来市の歩みのなかで大切にしてきたことが、市民の皆様の暮らしにおいても大切なものとして浸透し、成熟してきたことを嬉しく感じるとともに、朝来市の強みとして、今後、さらに育んでいきたいと感じています。

現在、コロナ禍ということもあり、先行き不透明な時期でもあり、さらに、人口減少社会において、今までの社会システムや価値観が大きく変わろうとしているときであります。委員の皆様におかれましては、専門的な見地や市民視点により、朝来市の将来像について忌憚のない御意見をいただきたく存じます。

総合計画は、行政運営のためだけの計画ではなく、市民の皆様とともに、どのような朝来市を創っていきたいのかを一緒に考え、そして、その将来像に向

かって一緒に進めていくための計画であると思っていますので、委員の皆様にも、御協力賜りますようお願い申し上げ、冒頭のあいさつとさせていただきます。

4 委員の紹介（自己紹介）

各委員から自己紹介後、事務局職員及び策定支援事業者から自己紹介。

5 会長及び副会長の選出について

朝来市総合計画審議会条例第5条の規定により、会長及び副会長を委員の互選により決定することを事務局より説明。事務局から提案することになり、事務局から会長、副会長を指名する。

会長に関西大学社会学部教授の草郷孝好委員、副会長に朝来市観光協会会長の桐山徹郎委員を指名し、委員の拍手により承認を得る。

会長の就任あいさつ

先ほど皆様からの御承認により、会長職を引き受けることとなりました。皆様には自由な発言をどんどんしていただきたいと考えています。

私は、約10年前に朝来市に来たことがあり、兵庫県但馬県民局の職員に竹田城跡を案内いただきました。私を含めて、朝来市といえば竹田城跡というイメージを持つ方が多いと思います。でも、この会では、その概念を打ち破りたいと考えています。多くのことを経験されている方が審議会のメンバーにおられるため、これからの朝来市に何が必要なのかということをおぼろげに感じ、忌憚なく出し合っていただき、ぜひ、これまでにない朝来市の軸というのを総合計画のなかで打ち出していいただければ良いと考えています。そして、そのなかで、幸せになるためにはこんなことがあるよということも私も発言させていただこうと考えています。これから、どうぞ、よろしく願いいたします。

6 諮問

多次市長が諮問書を朗読した後、草郷会長に手渡す。

7 審議

(1) 総合計画審議会の運営について

事務局 <資料4、資料5>

審議会の運営基準等について説明。

- ・会議は原則公開とする。
- ・会議録作成要領に基づき会議録を作成する。
- ・市民の皆さんへ周知を図ることを目的に、会議録作成後は、会議資料

及び会議録は市ウェブサイトに掲載する。

- ・会議は平日の午後から、会議時間は2時間30分を基本とするが、場合によっては夜間の開催もあり得る。

委員

会議開催時間が2時間30分とのことであるが、夜間開催の場合、7時30分から開催すると終了が10時になる。その場合も2時間30分の開催なのか。また、2時間30分の会議時間は長いと感じる。

事務局

審議内容に基づき、会議時間を決定させていただく。最長2時間30分とし、短時間で審議できる場合は2時間とするなど臨機応変に対応する。また、夜間開催になった場合は、2時間以内で終了するように調整する。

(2) 総合計画審議会の役割及び策定スケジュールについて

事務局 <資料6>

総合計画審議会の役割と策定スケジュールについて説明。

- ・総合的かつ計画的な市政運営を図るために総合計画を策定する。
- ・一般的には10年間の計画だが、朝来市では第2次総合計画から8年間の計画であり、第3次も令和4年度から令和11年度の8年間の計画を予定している。
- ・審議会は、基本構想（令和4年度から令和11年度まで）と、前期基本計画（令和4年度から令和7年度まで）を審議する。
- ・審議会は、令和2年度に3回程度開催し基本構想を、令和3年度に3～4回程度開催し基本計画を審議する予定。

委員

総合計画は一般的には10年間の計画だが、朝来市ではどうして8年間なのか。また、各地域自治協議会では、10年間の地域まちづくり計画を策定しているが、地域まちづくり計画も8年間にする必要があるのか。

事務局

市長のまちづくりに対する想いを反映させながら市政運営を図るために、市長の任期4年間に合わせて総合計画を8年間に設定した経緯がある。

地域まちづくり計画は地域独自の計画であるため、地域の実情に合わせて地域ごとに計画年度を設定すれば良いと考える。

(3) 将来像、基本構想について（グループ対話）

①あさご未来会議での対話内容、職員プロジェクトでの対話内容の共有

事務局 <資料7、資料8>

あさご未来会議での対話内容及び職員プロジェクトチーム会議での対

話内容について説明。

②グループ対話

対話 1

あさご未来会議や職員プロジェクト会議での意見を踏まえながら、朝来市のポテンシャルと課題について対話を行う。

対話 2

これからのまちづくりで大事にしたいこととその理由について対話を行う。

対話 3

将来像について（8年後の朝来市を見据えて、どんなまちにしたいか、どんなまちであってほしいかイメージしてキーワードを出し合う。

③全体共有

各グループから対話の内容について発表。

対話の内容は、別紙の通り。

④総括

会長

皆さん、お疲れさまでした。対話内容を見させていただき、また、発表を聞かせていただき、皆さんそれぞれの目線でしっかりまちを見ておられ、意見を言っていていただいているなど感じました。私の方から、この会議を進めていくにあたって、大事と思う点をお伝えします。

1つ目は、皆さんのおかげで朝来市のことがかなり分かってきました。100あるうちの2が分かってきた程度ですが、きっと皆さんもそういうことだと思います。自分の経験の中で色々分かっているかもしれないけれど、私たちが忘れてはいけないことは、皆さんが発表していただいた内容に、3万人の市民一人一人がそれに向き合ったとき、「私はどこなのだろうか」と確認できるかどうかが大変だと思っています。それができるかどうか、市民がまちのことを自分事にできるかどうかにつながると思います。「さまざまな市民目線で見るとこの柱はどうなるのか」等を皆さんと一緒に考えてみると良いのではないかと思いながら、話を聞かせていただきました。

2つ目は、大学のゼミで学生に伝えたことです。現在、ゼミで「2050年に皆さんが住みたい世界はどんな世界かを考えよう」を出発点とし、その実現のためには何が大事かを議論してきました。ゼミ生は3つの柱が大事という結論に行きつき、「環境」「多様性と自由」「生活と福祉」という柱を立てました。今、ゼミ生は、それらの柱に関係した、既に種まきされている市民の取組を調べているのですが、調べるにあたって、私はゼミ生に、絶対に忘れてはいけないことがあると言いました。朝来市

も同じことですが、2030年に向けて私たちが住む世界には課題があるということです。それがSDGsです。私が言いたいのは、SDGsの17の全ての目標を確認しようということではありません。その根本にある、「誰一人取り残さない社会をつくること」の大切さと、そのために「社会を今のままではなく変えていこう」という考えがあるという点です。皆さんの話を伺っていて、非常に近いものを感じました。総合計画は朝来市のことだけれども、8年先、朝来市を含む世界の動きにも根差すような話し合いが大事ではないかと、皆さんの話を聞いていて、強く感じましたし、ぜひ忘れないでやっていきたいと感じました。

今日は、多くの御意見をいただきましたし、皆さんもお互いにどんなメンバーなのかを良く知ることもつながったと思います。次回以降も、ぜひ積極的に、そして会議の合間もぜひ考えていただいて、意見を出し合い、それを互いに受け止め合っていく会議の運営になればと思っていますので、よろしくをお願いします。

8 その他

次回の会議開催日程を連絡。

- ・第2回 令和3年1月14日（木）13時30分から
- ・第3回 令和3年2月12日（金）13時30分から

9 閉会

副会長

皆様大変お疲れさまでした。今後、審議会は、1月に1回、2月に1回、来年度には、5～6月に3～4回という大変なスケジュールであり、さらに、2時間から2時間30分という会議です。ただ、朝来市の未来を語るということは、なかなか少ない機会ですし、また、語る中で自分たちを振り返りながら朝来市を考える機会にしていければと考えています。